

平成25年12月11日

# 千葉日報

## 白井市新庁舎に警察施設

### 県警本部長が設置検討へ

県警の大山憲司本部長は10日の県議会で、新しく整備される白井市役所への警察施設設置を前向きに検討する意向を明らかにした。同市を管轄する印西警察署の分庁舎的な位置付けになると見込まれ、実現すれば県内で初めての試み。全国的にも珍しいという。

県警や白井市によると、同市は近年の人口増加率が県内で最も高く、幹線道路で交通事故も相次いでいることなどから、昨年10～12月、市長名などで警察署の新設や警察施設の設置を要望。庁舎整備に合わせる形で地域防犯施設として新庁舎の一部を県警に提供す

るとの申し出も行った。

大山本部長は「厳しい財政事情から警察署新設は困難」との認識を示した上で、庁舎の一部を利用した警察施設について▽住民の利便性向上▽事件事故への迅速な初動対応▽印西署の狭陰（あい）化改善一などの効果を挙げ「設置に向けて関係部局と協議していきたい」と述べた。

県警によると、同施設には運転免許証の住所変更などを受け付ける交通部門のほか、パトカーなどの地域部門や私服の捜査員を含む捜査部門の設置を想定している。

同市の庁舎整備は来年度から基本設計に入り、2017～18年の完成を予定している。